

平成28年2月17日
国土交通省福島河川国道事務所
福島県
東日本高速道路(株)東北支社福島管理事務所

ふくしまおおざそう
東北中央自動車道福島JCT～福島大笹生IC間
「秋の行楽シーズン前までに」開通します
～観光・農業の振興等に貢献します～

国土交通省、福島県、東日本高速道路(株)が事業を進めて参りました東北中央自動車道のうち、
福島JCT(ジャンクション)から福島大笹生IC(インターチェンジ)までの延長1.4Kmが「秋の行楽シーズ
ン前までに」開通する見込みとなりましたのでお知らせ致します。
あわせて、JCT、IC等の名称が決定しましたので、お知らせ致します。

今回の開通によって、次の効果等が期待されます。

- 効果1:温泉地や観光果樹園へのアクセス向上により、観光・農業振興を支援
- 効果2:福島西部地区工業団地へのアクセス向上により、企業活動を支援
- 効果3:県内有数のスポーツ施設へのアクセス向上により、スポーツ交流拡大を支援

1. 開通区間

東北中央自動車道 福島JCT～ 福島大笹生IC(延長1.4Km)

2. 路線名及びJCT、ICの正式名称

路線名 東北中央自動車道(通称名:東北中央道)

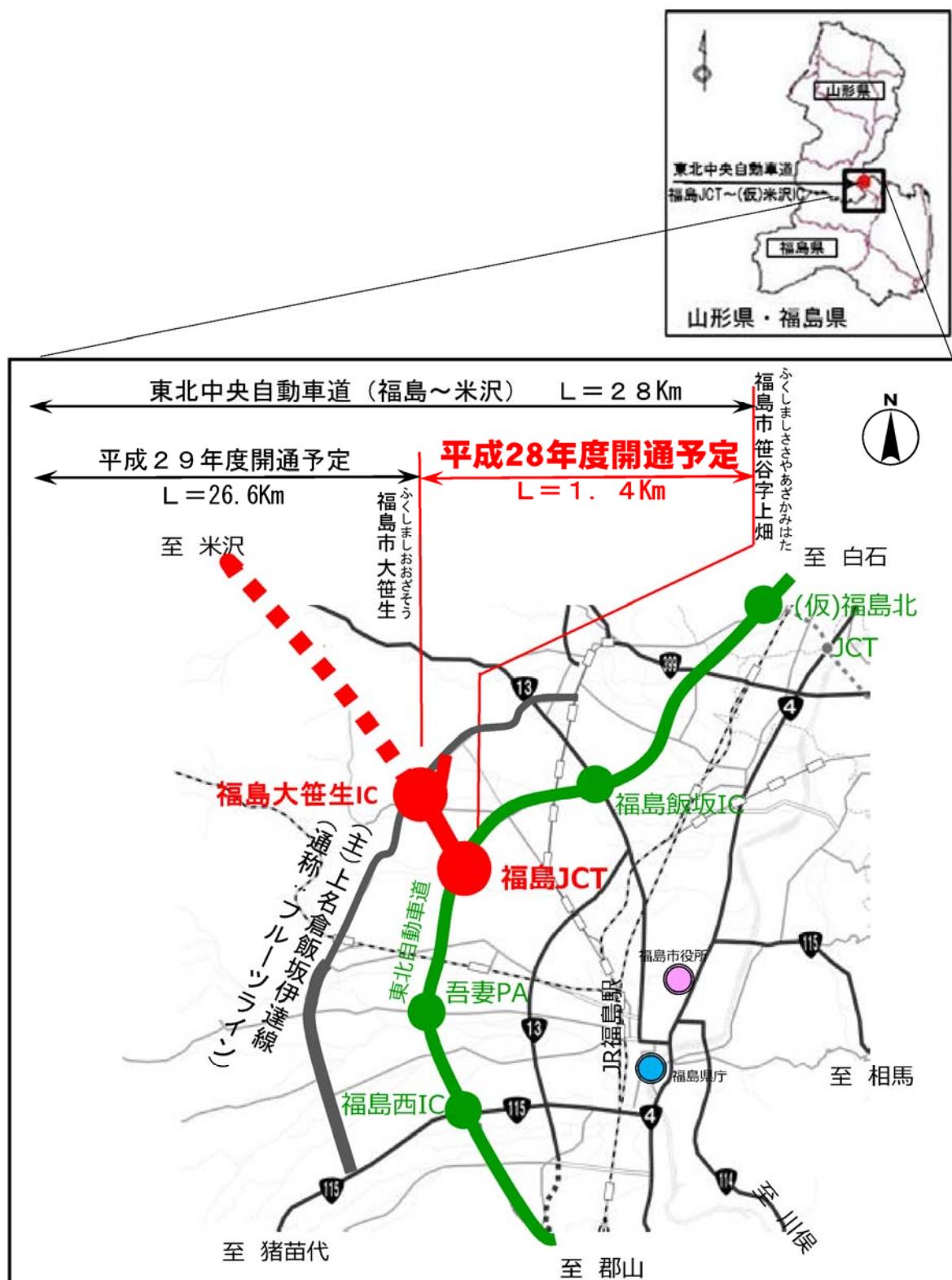
(仮称)福島JCT → 福島JCT

(仮称)大笹生IC → 福島大笹生IC

3. その他

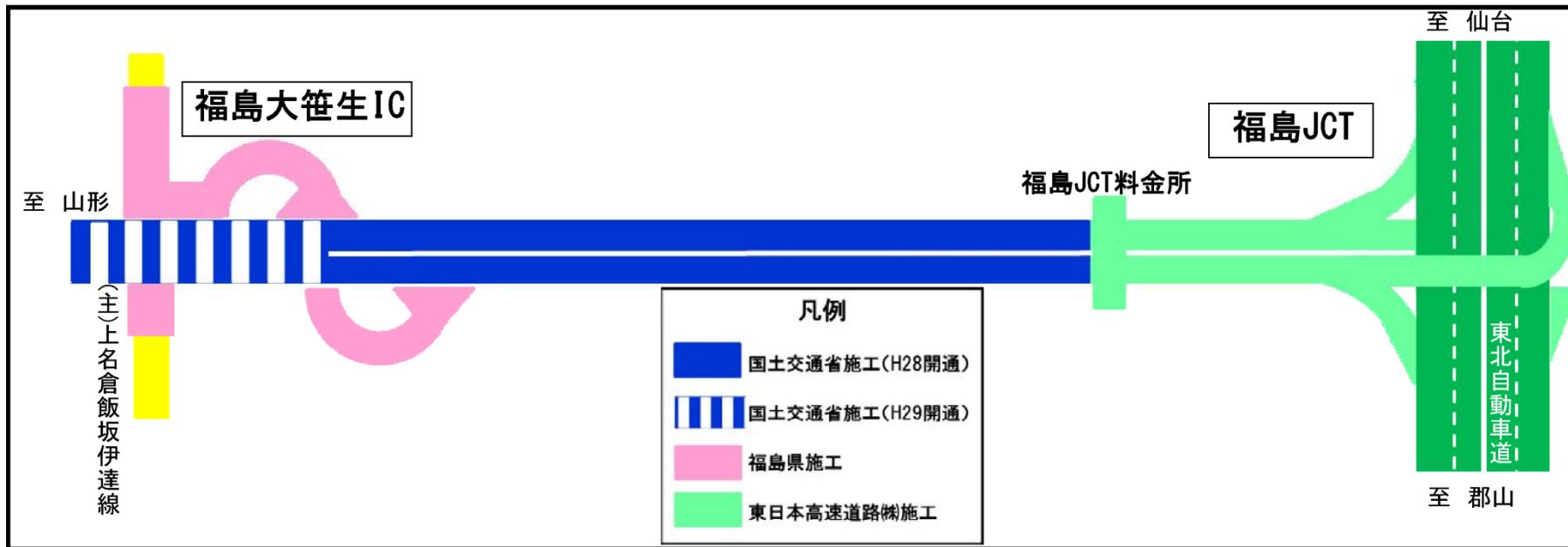
開通日、開通式典等の日時については決定次第、お知らせ致します。

東北中央自動車道(福島～米沢)概要図

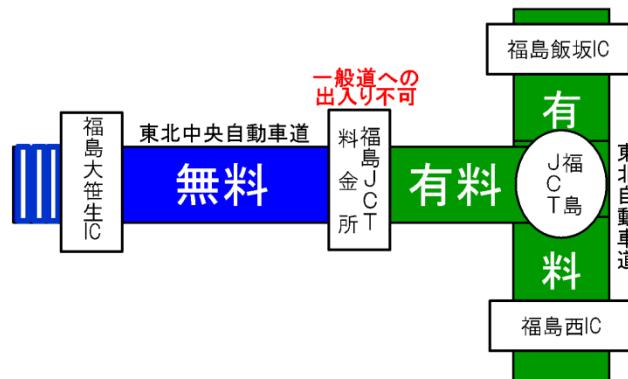


凡 例	
—	事業中 (H28開通予定)
·····	事業中 (H29開通予定)

東北中央自動車道(福島JCT～福島大笹生IC)施工分担



【参考】東北中央自動車道（福島JCT～福島大笹生IC）料金区分



※福島JCT料金所では、一般道路への出入りができませんので、福島JCT料金所←→福島大笹生IC間の利用はできません。
 ※福島大笹生ICから入って福島JCT料金所を経由して東北道方面へ向かった場合は有料となります。

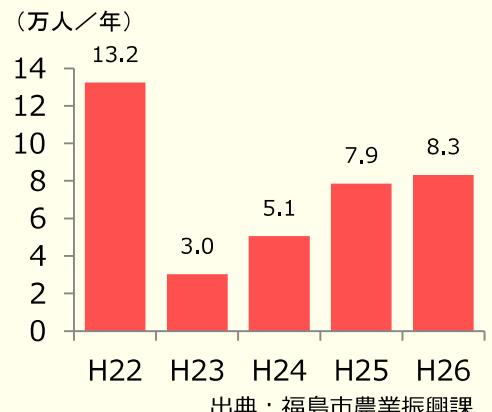
福島の魅力あふれる観光地へのアクセスが改善し、観光活性化に寄与（観光振興）

■福島市西部には、「くだもの狩り」、「飯坂温泉」など福島市の魅力あふれる観光地が集積

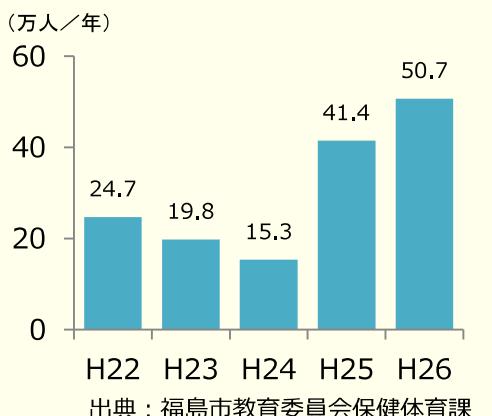
■震災後に減少した観光入込客数は近年は回復の傾向、福島大笹生 ICの開通で更なる観光活性化に期待



▼くだもの狩り観光入込客数の推移

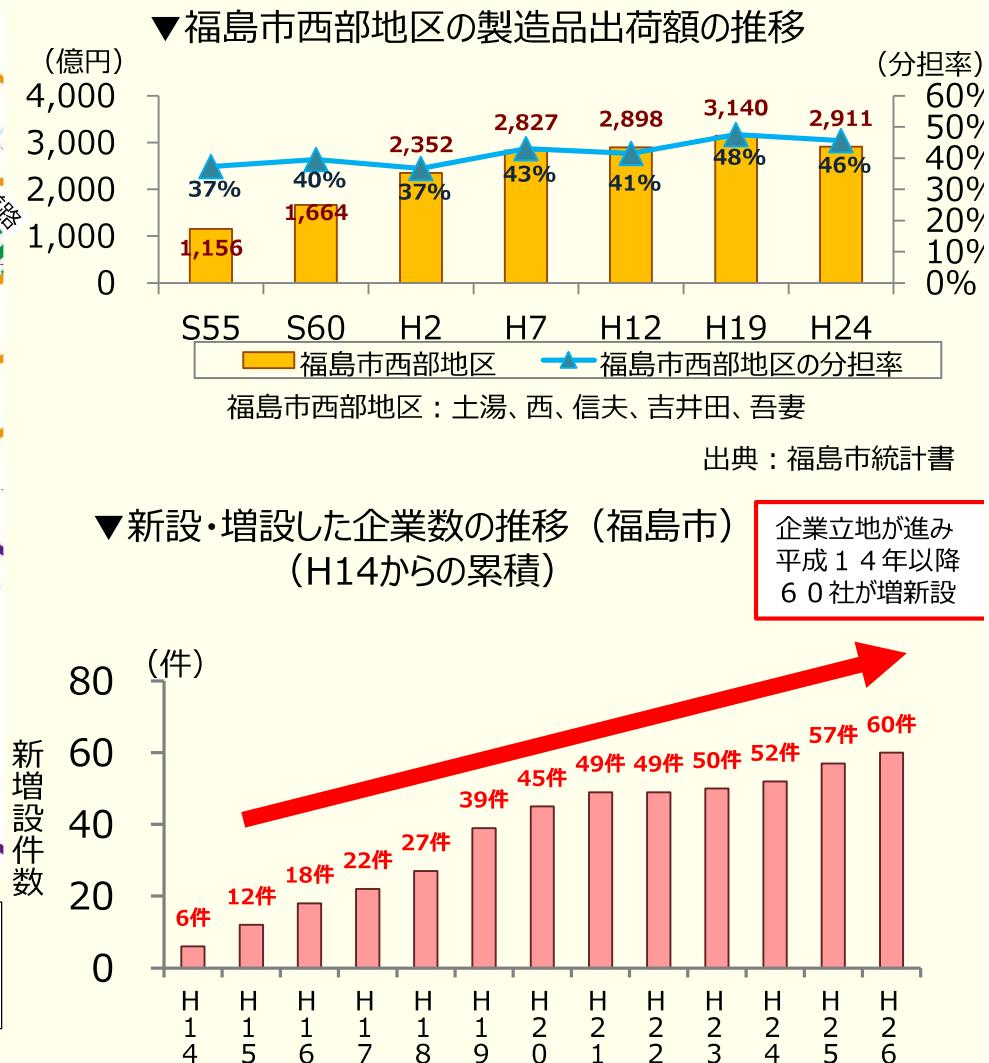


▼十六沼公園観光入客数の推移



経済の好循環をもたらす企業立地の支援（企業活動支援）

- 福島市西部のＩＣ周辺には大規模な工業団地が立地し、製造品出荷額は福島市の4割を占める。
 - 東北中央道の整備に合わせ、福島大笹生ＩＣ付近に新たな工業団地造成を進め、さらなる企業立地を促進



県内有数のスポーツ施設へのアクセスが向上し、スポーツ交流拡大が期待（スポーツ振興支援）

- 福島市西部にはスポーツ交流施設が集積、各施設で大規模なイベントが開催される県内有数のスポーツ交流拠点
- 東京五輪の野球・ソフトボール競技の誘致を正式表明。サッカー出場チームの合宿誘致を検討。
⇒福島大笹生ICの開通のアクセス向上効果により誘致活動を支援



十六沼公園

- ・スポーツ施設、遊具施設、自然公園からなる総合都市公園
- ・年間利用者数50万人以上(H26)
- ・**五輪サッカー宮城1次予選を想定し、福島での合宿誘致に向け調査検討予定**
- ・J3所属福島ユナイテッドFCの主なトレーニング場所
- ・スポーツ大会や自然イベントを開催

ふくしまスカイパーク

- ・民間試験空域を確保できる国内唯一の離発着場
- ・全日本曲芸飛行協議会などのスカイスポーツや地域イベントを開催
- ・研究開発やヘリ訓練の場としても利用
(航空機会社21社、民間企業8社、航空団体6団体、公共団体10団体以上)

あづま総合運動公園

- ・福島県内の主要なスポーツ施設が立地
- ◆あづま球場
 - ・30,000人収容。独立リーグ所属福島ホーブスの主な試合開催球場
 - ・**東京五輪の野球、ソフトボールを誘致を正式表明**
- ◆あづま陸上競技場
 - ・20,000人収容。J3所属福島ユナイテッドFCのホームスタジアム
- ◆あづま総合体育館
 - ・6,000人収容。各種スポーツの県大会やコンサートなどで利用

